

第8回（2年）

1. 日 時：令和5年7月19日（水）
13：30～15：30
2. 場 所：へきしんギャラクシープラザ
大会議室
3. テーマ：「山崎延吉と安城」
4. 講 師：天野 暢保先生
5. 出席者：27／29名
6. 内 容

○「安城を光り輝く地域に導いた指導者」である山崎延吉と安城とのかかわりについて、わかりやすく説明していただいた。

○県立安城農林学校の初代校長として同校に赴任するとともに、全国各地を巡って農業経営の在り方について指導した。

○また、延吉は農業を高く評価し、多角型農業経営を奨励し、組合をつくって出荷や購共同で行ったり、資金を融通し合ったりすることを勧めた。その結果、1920年代から30年代にかけて、安城は「日本デンマーク」と呼ばれるようになった。

○教え子たちに押されて出馬した第16回衆議院選挙における当選、その後の貴族院議員としての活動があったが、その人生はまさに人を導く教育者そのものであった。

7. 感 想

山崎延吉のことは今回初めて知った。農村と都市との関係を説き、県立安城農林高等学校初代校長として教育活動に終始した人生であったと感じた。このような史実を孫や若い世代に受け継いでいくことが私たちの責任であると思う。小学校の時に学んだ史実でも、大人になって学ぶとあの時とは違った意味や人物像を描くことができる。それは、何度学んでもそのたびに新しい発見がある。そのことが楽しい。

